

# 健康メモ

## アレルギー性結膜炎について

広島市医師会理事  
五日市中野眼科医院院長

中野 豊

アレルギーと

は自己防御のため  
の免疫反応が  
過剰になって病  
的症狀が出るこ  
とを言います。免疫細胞と免疫蛋白



がその反応の主役でⅠⅣ型に分類  
されます。目の場合はⅠ型の即時型  
とⅣ型の遅延型がありますが、結膜  
局所での免疫反応を起こす原因とな  
るアレルゲンは空中に浮遊している  
物が多く、代表的なものでは植物の  
花粉、ダニ、ハウスダスト、カビ、  
動物の毛・フケなどです。その他に

点眼薬や軟膏、化粧品、コンタクト  
レンズなどが原因となることもあり  
ます。花粉症はその植物によって明  
らかな季節性がありますが、その他  
の多くのアレルゲンの場合は通年性  
となります。我が国の花粉症は、戦  
後植林されたスギが成長して大量の  
花粉を飛ばすようになったことと大  
気汚染が悪化してきたことが関係し  
ています。またスギ以外の植物とし  
ては、ヒノキ、カヤ、ブタクサ、ヨ  
モギなどが代表的なところですが、シ  
ラカバは食物アレルギーとの交叉を  
起こすことでも有名です。日本での  
花粉症の歴史は五〇年弱ですが、最  
近は急速に罹患率が上昇し、人口の  
一〇%以上が花粉症患者で、そのう  
ち八〇%がスギに陽性と言われてい  
ます。主な症状は掻痒感(かゆみ)  
です。その他は充血・眼脂・流涙・  
異物感・羞明(まぶしい)・痛み・  
視力低下・眼瞼腫脹・結膜浮腫など

が挙げられます。治療としては、原  
因を回避する工夫、アレルギー体質  
の改善、種々の症状を緩和するため  
の薬物療法などがあります。薬は多  
くのが発売されていますが、大  
きく分けて、ヒスタミンというかゆ  
み物質を抑えるもの、その他の免疫  
に関する化学物質の抑制剤、副腎皮  
質ステロイド、春季カタルの重症例  
に用いる免疫抑制剤などの点眼薬が  
あります。これらを季節や症状に合  
わせてうまく使い分けことが大切  
です。薬の効果には個人差があり、  
また副作用が出る可能性もあります  
ので、処方の際には眼科医による診  
察を受けていただき、その後の経過  
についても特に副作  
用の有無のチェック  
のためにはある程度  
の間隔で受診してい  
ただくのが望ましい  
と思います。

